

令和5年12月20日
第9支庁弘通部

10年ビジョン・プロジェクト
ビジョン・ステートメント ver.1.0

これまでの私たちは、
果たして皆が同じ未来を
思い描いていたのでしょうか？

組とは？ お寺とは？ 佛立宗とは？

それぞれ一体、何なのか言語化できるご信者がどれくらいありますか？

言語化できる

・・・それは、

＝ わかる 伝えられる

ということ。

もちろん、言葉がすべてではありませんが、自分のことばで表現する大事をしっかり育んでいかなければご弘通は始まらないのではないのでしょうか。

これが **ビジョン** のひとつの**種** です。

この**種**は、言い換えれば

目的を問うこと。

意味を再構築。

WHY ?

たとえば・・・

1

素直な信心とは？

言われたことだけを機械的に実行していればよいのでしょうか？
思考停止状態とは違います。随喜心あふれる向上心こそ菩薩ではありませんか。

2 教化とは？

入信証の言上で完了として良いのでしょうか？
一人前の信徒となるまでの生涯教育こそ真の教化でしょう。

3 本門佛立宗とは？

宗内外の多くはどんなイメージをもっているのでしょうか？
メリット（御利益／醍醐味）ある宗教と認知されていない現実を改善しつづける挑戦を。

これらのビジョンの芽を具現化してゆきましょう。その一例を私たちは提案します。

信行体験の語り部を育てる。

転教師

（仮称）

信徒の中から
展轉随喜の実践者
を育てましょう。

ご信者の現証談（信行
体験）を聞き取り、それを
お伝えすることをご奉公とする。

学徒の一形態としてはどうでしょう。

候補者のいない寺院は体験談提供を。

一つの体験談を
繰り返し語る。

他寺院へ出向して語る。

転教師が集まって交流。
互いに切磋琢磨して信心向上。

こどもたちの中から転教師ジュニアを。

ビジョンの種を見つけ、
ビジョンの芽をそだて、
10年後の未来に華を。

※ここに書かれているすべてを指して、ビジョンと称します。

以上